

# 斬新な発想で提言

## 令和3年度中学生議会

未来を担う中学生の皆さんが市の現状や課題を学び、まちづくりへの提言を行いました。中学生議員が考えた提言の一部を紹介します。

図学校教育課 画71・2461

### 柔軟なアイデアを市政に

市 では11月13日、市役所議場で中学生議会を開催しました。

当日は、市内7校の中学2年生21人が保護者や市民の皆さんが傍聴する中、太田市長や市の幹部職員に提言型の質問をしました。

中学生議会は、市の将来を担う中学生の柔軟で斬新な発想やアイデアを市政に生かすことや、自分たちが暮らす地域への関心を高めてもらうことなどを目的に開催し、今年で9年目を迎えました。

### 学んだ成果をまちづくりに

生 徒たちは市政全般を学ぶ講座やグループ別の学習会を5月から5回程度行い、市職員から市の目指す将来像や政策などの説明を受けながら、市が抱える課題や取り組みの理解を深めてきました。それら

を基に、学校ごとに提言をまとめ市政に対する提案型の質問を行いました。当日の議事録は、市HP 84761にてご覧いただけます。

### 参加者(発言順)

- 穂高西中学校 英百々子・中村愛音・下里夏歩
- 豊科南中学校 渡邊菜月・矢口夏花・滝沢葵
- 穂高東中学校 傳刀かりん・望月快・望月香里
- 三郷中学校 横内真子・中沢徹平・有賀亜虹
- 明科中学校 塩原功汰・堀内颯太・山下万葉
- 堀金中学校 中島杏采・西原颯志・平井嵩刀
- 豊科北中学校 小倉千広・新海朝旦・丸山柚和



### 6. 堀金中

#### 人口減少による水道料金の収入減少を補うために

Q 安曇野の水をテーマとしたイメージ動画コンクールを開き、入賞動画を県内外の民放で放送するなど、安曇野の水をよりイメージアップして販売することはどうでしょうか。

A イメージ動画は有効な方法と考えます。現在水道水の勉強の一環で、市の水道施設を小学生が見学しているので、まずは「安曇野の水」啓発ポスターを作成してもらい市役所ロビーなどに展示していきたいと考えます。また、長野自動車道下り線から見える高家配水池に「安曇野の水道」イメージ画を描き、高速道路をお使いの皆さんへのイメージアップにつながるよう検討したいと思ひます。

### 7. 豊科北中

#### ネット社会を安心して生きていくために

Q 「ネットトラブル予防旬間」を行い、学活や道徳の時間にクロームブック<sup>※2</sup>の効率的な利用方法を実践的に学ぶことはどうでしょうか。

A インターネットやSNSの正しい利用方法を定期的に共通理解していく上で「ネットトラブル予防旬間」は有効だと考えます。令和元年度の中学生議会で提案があった「ICT利用に関する中学生徒代表者会」を立ち上げ、同旬間の各校の取り組みを共有し、生徒間でも大事な課題として受け止めるきっかけとしていきたいと思ひます。

### 4. 三郷中

#### 子どもの貧困問題が少しでも解消されるために

Q 参考書や問題集、学用品など教育にかかる費用の一部をプチベーシックインカム<sup>※1</sup>として、支援金を支給することはどうでしょうか。

A 小・中学校に就学するにあたり、経済的に困っている家庭に学用品や給食費などの援助を支給しています。子どもの貧困問題は表面化しにくいいため、市では定期的に子どもの生活支援に関係する部局で情報共有する場を設けています。必要に応じて会議を行い、支援の方向や具体的な働きかけを検討するなど、先生方と共に生活がより良い方向に向かうよう努力しています。

### 5. 明科中

#### 自転車、歩行者が安全に通れる道路に

Q 歩道の設置と比べて低コストでできるカラー舗装を充実させ、車道と歩道の区分けを行ってはどうか。

A 市ではカラー舗装としてグリーンベルトの設置に取り組んでいます。すべての路線ではなく、歩道のない通学路で学校から半径1<sup>km</sup>圏内、車道幅員3.5<sup>m</sup>以上の路線で、地元や学校からの要望により、利用状況を確認してから行っています。引き続き既に設置した箇所の維持修繕と共に、グリーンベルトの実施範囲を検討するなど、さらなる充実を図りたいと考えています。

### 2. 豊科南中

#### 水路・農道・ため池など共有資産の維持管理に地域住民が関わるために

Q 農業を営むと同時に環境維持に取り組む雰囲気を作るため、SNSで住民が参加するイベントを発信したり、動画コンテストを行うのはどうでしょうか。

A 市内には、非農家の皆さんでも興味を持っていただける活動やイベントに取り組んでいる農地維持団体も多いので、SNSの利用は多くの市民の皆さんに目を向けていただく良い機会となると思ひます。早速サイトを立ち上げ、皆さんに投稿していただけるよう準備したいと思ひます。

### 3. 穂高東中

#### 高齢者がいきいきと活躍できるよう、中学生等との異世代交流を

Q 中学生等が高齢者のお手伝いをし、貯まったポイントで地域交流に生かせる物品と交換できる制度はどうでしょうか。

A 例えば冬場においては、あらかじめお手伝いをお願いしたい高齢者とお手伝いしたい中学生を決めておき、降雪時にできる範囲で雪かきをするなどが考えられ、各区の登録制で実施するといった取り組みができると考えます。ポイント制は、実施方法を検討していく上で参考にさせていただきます。

## 中学生議会

質問 答弁

# Q & A

※1ベーシックインカム…生活に必要な最低限の現金を政府が定期的に支給する政策のこと

※2クロームブック…児童生徒1人につき1台貸与している学習用PC端末のこと

### 1. 穂高西中

#### 未成年者が消費者トラブルに遭わないために

Q 実際にあった消費者トラブルなどについて専門家から話を聞いたり、実際にスマートフォンを扱いながら実習を行うのはどうでしょうか。

A 市職員が出向いて講座や学習会を行う出前講座の「消費者講座」のメニューでは、実際にあった事例を基に、トラブルに巻き込まれないための対策について学べます。これらの講座を効果的に授業に組み入れることができれば、現実感を持って学習を進めることができると考えます。